

経営比較分析表（令和4年度決算）

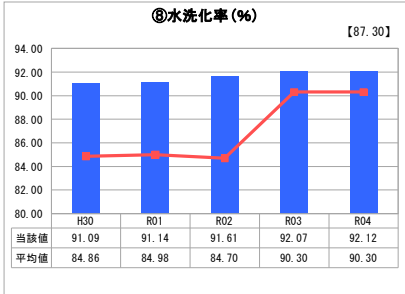
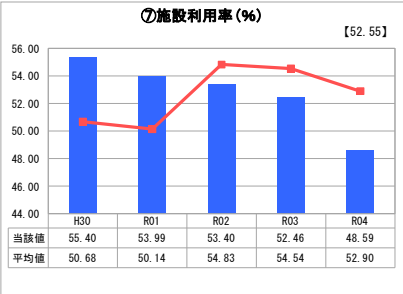
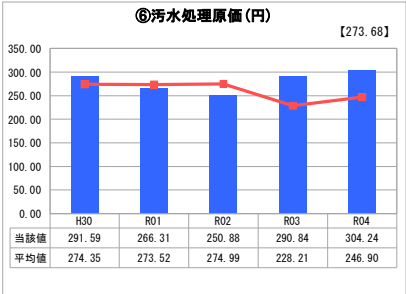
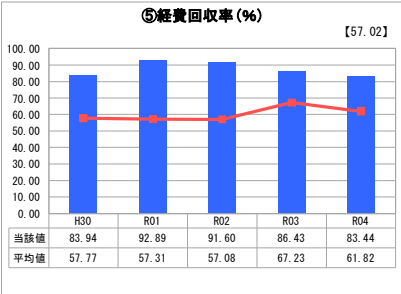
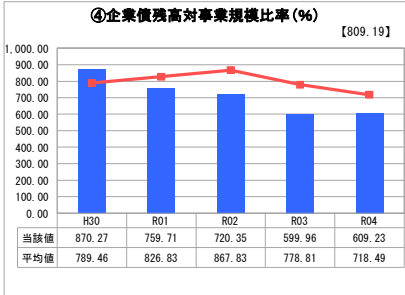
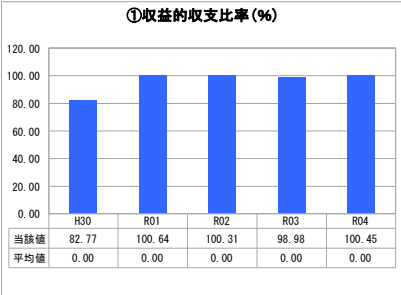
北海道 月形町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	53.35	87.60	4,664

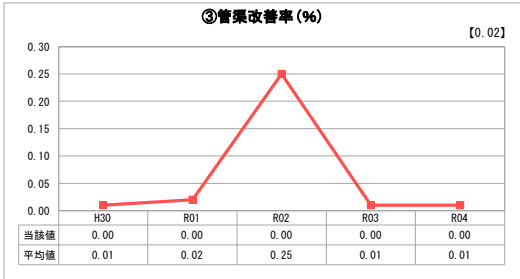
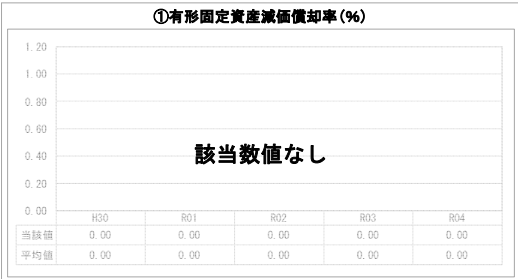
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,864	150.40	19.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,511	1.57	962.42

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①平成30年度以降は、地方債償還金の減少により、100%に近い数値となっている。今後も経営改善に向けた努力を続けていく必要がある。
④地方債現在高の減少により、減少傾向にある。
⑤類似団体平均を大きく上回っているが、今後も汚水処理費の削減、適正な使用料収入の確保が必要である。
⑥例年類似団体の平均に近い数値を推移していたが、有収水量の減少等により、今年度は上回る値となっている。経費削減を進めると共に、接続率の向上により有収水量を増加させるなどの努力を継続する。
⑦類似団体の平均と比べて低い数値となっているが、人口減等を原因として、処理水量が減少しており、経営努力等による改善は難しい。今後は施設の規模縮小や統廃合を検討する必要がある。
⑧類似団体平均値を上回っている。接続率は向上しているが単身世帯が多く、有収水量の増加には繋がっていない。

2. 老朽化の状況について

③管渠について、耐用年数が経過するまで期間があるものの、劣化状況の把握を進め、計画的な更新を行う必要がある。

全体総括

全体的に類似団体の経営に近い状況である。
水洗化率は類似団体と比較して高い数値となっているものの、人口減により有収水量の減少が続いており、汚水処理原価が類似団体と比較して高い状況にある。また、施設利用率が減少を続けていることから、処理能力・施設規模の縮減について検討する必要がある。
現在、施設の機能強化事業を実施しており、経費や地方債残高の増加が見込まれることから、公営企業法の適用事務を進め、適切に経営分析していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。